

小さい種いもでもナガイモの種子に使えます

現在の指導（種子重は50～100g）よりも小さい40g種子でも芽が付いたまま5月上旬に植えると60g種子と大きさが同等のいもが収穫できることを明らかにしました。

要約

研究成果の概要

1 背景・目的

品質が良いナガイモ生産にはウイルスフリーの種子を使うことが必要ですが、気象災害により現在指導している50～100gの種子が不足する年があります。

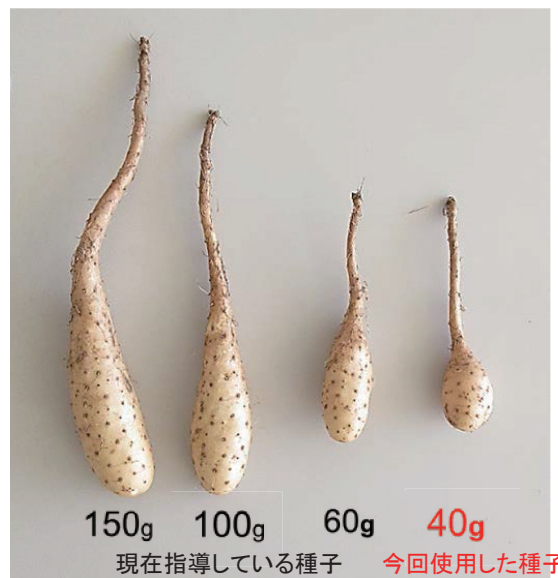
そこで、現在の指導よりも小さい50g未満の種子での栽培方法の開発に取り組みました。

2 内容

- 茎葉の生育は、現在指導している60g種子より栽培を通じてやや少なくなります。
- 5月上旬の植え付けでは、60g種子を栽培して収穫できるいもと同じくらいの重さです。
- 5月中旬以降の植え付けは、いもが10%程度小さくなるので、控えてください。

3 活用等

種子の不足年には、小さいウイルスフリー種子を有効に利用することができます。



芽付き種子

収穫時のいもの生育

種いも重	植付時期	全長 (cm)	いも径 (mm)	いも全重	
				(g/株)	対比(%)
60g	5月上旬	74.4	63.2	1,152	100
	5月上旬	73.4	63.7	1,144	99
40g	5月中旬	72.8	61.2	1,042	90
	5月下旬	69.9	64.1	1,070	93

(注) 平成29と30年度の平均値

関連情報

- 詳細については、平成31年度普及する技術・指導参考資料を参照してください。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/hukyuugijutu_yasaimokuji.html